

出を計上に、居住環境の質を向上は、現在の景観計画における大規模建築物を対象とする規制(景観形成基準)として、建物高さなどを制限する基準を示した。また、テレビ塔と大天守の間の建築物などの高さ、半径1キロ以内の一定の範囲における城外の建築物などの高さを制限す

望保全の(答申案から市街地の眺め(パノラマ景観)の三つのポイント)を定めた。答申で

は、現在の景観計画における大規模建築物を対象とする規制(景観形成基準)として、建物高さなどを制限する基準を示した。また、テレビ塔と大天守の間の建築物などの高さ、半径1キロ以内の一定の範囲における城外の建築物などの高さを制限す

る」としている。名古屋市の眺望を保全するに当たり、現在の市景観計画における大規模建築物を対象とした行為の制限について、特に重要な建築物などの周辺で景観上の十分な配慮を行うと定めるだけで強制力がない。市が事業者などに対し助言・指導する際

の具体的な基準が必要であり、その他の一定の強制力がある効果的な規制方法や、歴史的な眺望にふさわしい環境を整備するため場内における樹木の適切な管理、付帯施設などのデザインや配置についても検討を進める。

愛知県は18日、2016愛知環境賞の表彰式を名古屋市内で開いた。建設関連では、銅賞を受賞した全国防草ブロック工

業会らに表彰状が手渡された。写真。あいさつに立った大村秀章愛知県知事は、「オリーブワンというべき技術を持つ、ものづくり王国ならではの応募が多かった」と評し、「日本の産業県である愛知県は環境面でもトップランナ

を指す」として、協力を呼び掛けた。愛知環境賞は、企業・団体などによる資源の循環や環境負荷の低減を目的とした、先駆的で効果的な取り組みを表彰する制度。今回は41件の応募の中から、金賞1件、銀賞1件、銅賞2件、中日新聞社賞1件、名古屋市長賞1件、優秀賞9件の合計15件を選定した。

なごやか トーク

愛知県内の塗装店、塗料販売業者、塗料メーカーなどの若手経営者らで構成する研修グループ「愛知昭和会」の会長に1月から就任した。就任に当たって打ち出した運営方針は「より楽しく」。若い会員が気軽に参加し、楽しく語れる会を目指す。「先輩方にも少しハジける

や先細り感に悩み、毎を多くの若者に知っ年のように会員増を目標に掲げている。当会も同様だ。「そのため」と考えた。「今に、多くの団体が「参の会員が楽しそうに加するメリット」を模たれば、より若い入寮。昭和会も経営力や技術力の向上につながれる。ある意味で原点

「より楽しく」。若い会員が気軽に参加し、楽しく語れる会を目指す。「先輩方にも少しハジける

まず、定例の研修会の内容から制限をなくした。「日々の仕事から離

運営方針は「より楽しく」

愛知昭和会会長に就任した一宮久郎さん

手団体、青年部は分岐点に差し掛かっている」と切り出した。しかし、それは単なる遊びの会にするとい

参加する中で「ためになると」ばかりを提案することに限界も感じてきたという。

「本来、若手の会と内容は並ぶ。どうや同じ年代にいる者同士が語り合っただけで意義があるもの。時間を共有する中で、悩みを相談し合い、見聞を広げることができる」。そ

の設置事業費9万円、所▽小規設置事業10万円、設▽幼稚園育モデル10万円、設



愛知昭和会会長に就任した一宮久郎さん

「本来、若手の会と内容は並ぶ。どうや同じ年代にいる者同士が語り合っただけで意義があるもの。時間を共有する中で、悩みを相談し合い、見聞を広げることができる」。そ

業界・行政ニュース

防草ブロック工業会らに表彰状

愛知県が環境賞表彰式

愛知県は18日、2016愛知環境賞の表彰式を名古屋市内で開いた。建設関連では、銅賞を受賞した全国防草ブロック工



業会らに表彰状が手渡された。写真。あいさつに立った大村秀章愛知県知事は、「オリーブワンというべき技術を持つ、ものづくり王国ならではの応募が多かった」と評し、「日本の産業県である愛知県は環境面でもトップランナ

初期欠陥の排除など解説

日建連がコンクリートセミナー中部

日本建設業連合会は22日、「2015コンクリートセミナー中部」を名古屋市内で開催。日建連中部支部の会員企業の技術者110人が参加した。日建連本部土木工事技術委員会コンクリート

クリート構造物の品質向上に必要な、施工時の初期欠陥の排除のポイントなどについて同技術部会で作成したテキストを使って解説した。写真。セミナーの冒頭、あい

さつに立った同連合会中部支部建設技術委員会の岸研司委員長は、日建連でのコンクリートの調査・研究の経緯について説明。「コンクリート構造物の品質と耐久性の向上をテーマに、長寿命化や、充てん不良などの課題解決に向けて取り組んできた」と述べた。

特に、品質向上のポイントとして、施工時の初期欠陥の排除に重点を置いてきたという。そして、研究の成果と



クリート構造物の品質向上に必要な、施工時の初期欠陥の排除のポイントなどについて同技術部会で作成したテキストを使って解説した。写真。セミナーの冒頭、あい

さつに立った同連合会中部支部建設技術委員会の岸研司委員長は、日建連でのコンクリートの調査・研究の経緯について説明。「コンクリート構造物の品質と耐久性の向上をテーマに、長寿命化や、充てん不良などの課題解決に向けて取り組んできた」と述べた。

特に、品質向上のポイントとして、施工時の初期欠陥の排除に重点を置いてきたという。そして、研究の成果と



埼玉県立鳩山高校が在校生向けに開いた進路

埼玉県立鳩山高校の進路ガイダンス参加

戦略的広報協議会

建設業団体や国土交通省でつくる建設産業戦略的広報推進協議会は18日、埼玉県立鳩山高校が在

建設業団体や国土交通省でつくる建設産業戦略的広報推進協議会は18日、埼玉県立鳩山高校が在